

# 会務報告

平成十五年四月

- 四月十二日 会計監査の実施。
- 四月十四日 平成十五年度赤い羽根共同募金配分金の使途計画書提出。
- 四月十九日 役員会を開催し、総会提出議案等について協議した。
- 四月二十九日 定期総会を築山児童センターで開催し、平成十四年度事業報告、同決算、平成十五年度事業計画、同予算について協議決定した。
- 五月一日 日赤社員増強運動の推進。
- 五月一四日 平成十四年度見守りネットワーク事業及び地域福祉活動メニュー選択事業の活動実績報告。
- 五月二二日 平成十五年度見守りネットワーク事業、地域福祉活動メニュー選択事業及び地域サロンの活動計画書提出。
- 六月一日 地区内福祉関係諸団体育成のため、老人クラブ、児童施設及び福祉関係団体等に助成金を贈った。
- 七月四日 地区福祉協力員のボランティア保険への加入。
- 七月七日 敬老会該当者を民生委員、町内会長にお願いし調査した。
- 八月四日 赤い羽根共同募金の資材申し込み。
- 八月七日 地区敬老会案内状を民生委員、町内会長を通じ配布した。市社協だよりを町内会長を通じ全世界帯に配布した。

- 八月十六日 役員会を開催し、敬老会について協議した。
- 八月二三日 秋田市地域福祉計画ワークショップを榊山コミセンで開催した。
- 九月十六日 恒例の地区敬老会を榊山コミセンで開催した。
- 対象者 一、三九三名  
出席者 一、一五一名
- 式典終了後、みどり保育園児の歌や踊り、築山小学校の児童による歌や竿灯の演技、竹泉会の皆様による民謡や都翠会の新日本舞踊などで賑わった。
- 十月一日 共同募金運動（赤い羽根）の推進協力。
- 十月二日 秋田県社会福祉大会へ参加した。
- 十月二九日 秋田市社会福祉大会及び社会福祉法人設立五十周年記念式典へ参加した。



敬老会で熱唱する竹泉会の皆様

## 善意のご寄付

(平成十五年四月一日)  
平成十五年十月三十一日

- ◎ 香典返し
- 榊山南中町 佐藤 フミ様 二十万円 (亡夫 英一さん)
- 南通宮田 佐藤 健三様 十万円 (亡父 練三さん)
- 榊山寺小路 高井 悦雄様 十万円 (亡母 エシノさん)
- 南通宮田 矢倉 良子様 二万円 (亡父 銀次郎さん)
- 榊山本町 妹尾 弘様 五万円 (亡母 アイさん)
- 榊山愛宕下 上神谷 雄二様 二十万円 (亡母 ノブさん)
- 榊山南中町 工藤 昇様 五万円 (亡母 千代さん)
- ◎ 篤志
- 三万円 佐藤 連治様
- 一万五千元 高桑 博様
- 一万円 加藤 俊悦様
- 五千元 廣島ふとん店
- 雑巾三百枚 榊山太田町 サークル協議会様
- 佐々木 優子様

## 編集後記

◆ 築山社協だより「第三十一号」をお届けします。今回は、敬老の日に寄せて、高桑会長さんの所感と九月十六日に行われた「敬老会」の状況、それに「地域活動」として、地域の老人クラブの内、第一寿会と第二寿会をとり上げました。

◆ 敬老会につきましては、今年も楽しく和やかな会を持つことが出来ましたことは、多くの方々の御支えによるものと深く感謝申し上げます。

◆ 二つの老人クラブの会長さんの申されておりますことは、「六十代の方々のクラブ参加」です。皆様遠慮なさらずに参加されて、楽しい時間をお過ごしください。

◆ 前にも申しましたが、「いきいきサロン」事業(グランドゴルフ、スマイルボーリング、合唱など)にも多くの方々のご参加をお待ち申し上げております。

◆ 原稿や写真をお寄せくださった皆様には、心から感謝申し上げます。社協活動へのご提言、「社協だより」への皆様のご意見をお寄せください。

編集責任者 樋渡 久孝  
編集委員 加藤 三夫 黒崎 寅雄  
神田 武  
連絡先(事務局) 樋渡 久孝

# 築山社協だより

題字：茂林憲子  
第31号  
平成15年11月25日  
築山地区社会福祉協議会  
会長 高桑 博



## 敬老会によせて

築山地区社会福祉協議会  
会長 高桑 博

### 敬老の日に想う

敬老の日はまた「老人の日」でもあります。戦後の昭和二十二年兵庫野間谷村(現八千代町)が農閑期で天候の良い九月十五日を「としよりの日」としたのが始まりといわれています。この運動が全国に広まり昭和四十一年に「敬老の日」として国民の祝日になったのです。

「老」は元来、尊ばれるもの、選ばれたものと言ふ意味をもち、長老、家老、老中といったその組織の重要ポストの人であった。昔の大家族制度時代は老人は家長であり家庭の長であり、威厳があった。しかし老人と言う呼び方になると、おい、ふける、ぼけが始まる年頃、足腰が不自由になる年寄りなどイメージがよくありません。

先日元気な老人が今の時代、歳は七掛けですと言われた。七十才であるなら四十九才である。それはちよつとオーパーな話ですが八掛け位で気持ち若く持たたいものです。

ある保育園で園児に「氷がとけると何になりますか」と先生が聞きました。「水になります」と皆が答えた。良くわかっていますねと先生がほめてあげました。一人の園児がげんそうに「氷がとけると春が来ますよ」といいました。先生は一瞬びっくりしましたが「すばらしい答ですね」とその子供の頭をさすりながらほめてあげました。老人もまた元気に若返って発想の転換を自ら求め、社会参加や奉仕活動に努めたいものです。

また、超高齢化時代は老々介護の時代でもあります。敬老の日を祝うと共に、介護する方に深く感謝する日でもあります。

**敬老会におけるお祝いのごことば**

本日ここに敬老の日を迎え、皆様の長寿をお祝いすることができまことを、心からお喜び申し上げます。

皆様の若い時代には戦争があり苦難の日々を過した時期がありました。しかし長い人生を豊かな知識と経験と努力により、地域社会の発展に貢献されて参りましたことに心から深く感謝申し上げます。

この築山地区は緑が多く歴史的にも古く、山と川のある穏やかな住みやすい町でもあります。今年の敬老会該当者は昨年より六九名増え、一、三九五名となり(十年前の平成六年には九八九名)六五才以上の高齢化率は二二・二%と長寿の町でもあります。これから高齢化が急速に進む中、ますますみなさんが手を取り合って元気で心豊かに幸せに過ごしてまいりたいと思います。

高齢者が住み慣れたこの地区で安心して生活できるように、築山地区社会福祉協議会、民生児童委員協議会が中心となり町内会、福祉協力員、老人クラブ等が一丸となって、「みんなの福祉はみんなの手で」の合言葉のもと「健やかで心豊かな福祉の町づくり」をめざして頑張っております。あらゆる経験をつんだ皆様が元気でおられ、いろいろ提言やお力添え戴くことの出来ることはこの地区の宝であります。益々の長寿を心から願ってお祝いの言葉と致します。



# 平成15年度

うなワクワクした気持ちで会場に行き暫くウロウロしていたら事務局長さんに呼び止められ、「よく来て呉れましたね。ご苦労さんです。」と労いの言葉を掛けられ会場に案内されました。会場は紅白の幕やお花で飾られていて、歓迎ムードいっぱいのお華やかな雰囲気になっていました。

会場を見回すと、皆さんお一人お一人がお若く非常にお元気そうで、どうして七十五才以上のお年寄りとは思われない方の多いのに驚きました。誘い合わせて出かけて来られた方や暫く振りで会った方たちが、あちらこちらで挨拶やお互いの近況などを交わして、会場が急ににぎやかになりました。初めに会長さんの挨拶があり、その中で、「この地域は秋田市の中でも最大の面積を有し人口も多く、それに比例してお年寄りも多い地域であります。なかでも築山地区には山あり川あり、そして緑豊かな森があって、大人も子供にとっても住みやすく、特にお年寄りにとっては、静かで安全にゆっくり散策を楽しむ事の出来る非常に環境のよい住みよい町です。」とお話になりましたが、全くその通りだと認識を新たにしました。

実は私と家内は津軽地方の出身で、秋田市に昭和四十年に移り住み、楢山石塚町に住んで二十八年になります。確かに近くには、一ツ森公園や金照寺山公園があつて気兼ねなく歩ける散歩道が到る所にあり、更に地域の中央を太平川が流れ、その両側のほとりには桜並木が延々と続き、特に春爛漫の季節はすばらしく私たちにとっては、他所にはない散策と憩いの場所を与えられている事を考えると、本当にこの地域に住んで良かったとつくづく思います。

また、ご来賓の皆様からは、私たち高齢者に対して感謝と激励のお言葉がありました。その一つ一つに若かりし頃の楽しかった事、苦しかった事が今更のように蘇り、この企画がこれまでの人生の歩みを省みる絶好の機会と親睦の場を提供してくれていると思います。さらに進んで、保育園児のお遊戯の愛らしさ、お孫さん達からの可愛いプレゼント。直ぐにも駆け寄って頼ずりをしたい気分になりました。これからも自分の健康は自分で守り、身の回りのことは自分で行つて、出来得る限り迷惑をかけないように、いつまでも元気でニコニコ顔のいいお爺ちゃんお婆ちゃんになりたいと思います。

私たち高齢者は、長い人生で培ってきた豊富な経験を生かし、少しでも地域社会のお役に立てれば幸せであるとも考えました。この度、初めて敬老会に参加して私の率直な感想を述べてみましたが、本当に出席して良かったと思います。最後になりましたが、この度の敬老会を企画し準備して下さいました関係者の皆様には心から感謝致します。有難うございました。



築山小学校の近況などを述べられる加藤校長

## 敬老会に参加して

楢山古川新町 民谷 圭次

恒例の地区敬老会に参加させていた、小さな子ども達のお遊戯や竿灯の妙技を見て目頭を熱くして参りました。

元気なうちは毎年参加したいと思っております。

敬老会の感想とは違いますが、普段実践していることや考えを少し述べさせて頂きたいと思えます。

### ●健康と長寿について

がんを始めあらゆる病気を予防し、健康を維持するには良質な血液を造ること、その血液の循環を良くすることではないでしょうか。そこで基本となるのは日々の生活習慣を直すことであり、その中でも食生活が中心とっております。

ある講演会で、秋田市の人口は三十万八千人。六十五才以上の高齢者が六万人、その内の九千八百人が介護認定を受けていると言うことですから、実に六人に一人が認定を受けていることになりました。そこで高齢化社会の現在、自分の健康は自分で管理するという意識改革と自覚が緊急の課題と認識しております。

### ●倫理的に生きることについて

人間誰しも幸せな生活を送りたいと願っております。そのためには人のふみ行うべき道、倫理生活を実践しております。

私達は生ある限り、全ての人が生まれながらにして倫理力を持ち合わせているのですから、その倫理力を眠らせておいてはならないと思えます。幸せになる道は倫理力を奮い起こして、倫理の力で雄々しく生きることに学んでおります。

### ●老人パワーをボランティア活動に

私は常日頃、自分で出来ることから何等かの社会貢献をしたいと思ひ日々活動しております。

ここで老人と申し上げましたが、この際、成人病を生活習慣病と変えたように、老人クラブを幸齢者クラブと変更したらいかがでしょうか。

# 地域活動

このコーナーでは地区内の老人クラブを二回に分けて紹介します。

## 皆に喜ばれる老人に

築山第一寿会 会長 妹尾 克利

まずは日頃、私たちの活動に暖かいご支援を頂き深く感謝いたします。

築山地区の老人クラブは、四単位クラブで構成され、主な年間行事は、市老連スポーツ大会に始まり、地区老連の春、秋のグランドゴルフ大会、毎週曜日を決めて行っている日常のグランドゴルフ、スマイルボーリングなどで親睦と健康増進に努めています。

私たち単位クラブとしては、地域団体との交流に努め社会奉仕活動として公共施設等の清掃、今年の九月には特別奉仕活動として宮田市内の歩道路側帯の除草作業を実施しました。また第二寿会と共に楢山街区公園の一隅に花壇を造り、花いっぱい運動に参加してきました。春と秋の花壇に合わせた花を植え替え、公園に来た方々にも喜ばれています。

会員、楽しみの年二回の日帰り旅行、この時ばかりは、呑むほどに、酔うほどに、カラオケで唄い、ダンスで若返り元氣いっぱい楽しんで来ます。

近年高齢者の交通事故が多発していることから、学習活動の一部として、各種講習会等には積極的に参加し交通安全に努めています。

今後の課題として、若手の会員加入者をどう進めるか、悩むところです。

ともかく老人クラブは「仲良く、明るく、健康で」をモットーに、これからも仲間づくりを努力したいと思います。この場を借りてのお願いですが、私たち仲間と軽スポーツや旅行などを楽しんでみませんか。心よりご入会をお待ちしております。



日帰り旅行のひとつ

## 若い方の入会を

築山第二寿会 会長 佐藤 連治

私共クラブの誕生は、昭和五十三年で高井兼吉さんが、初代会長を務めたようです。

第二寿会の区域は南中町、登町、共和町、川口境、愛宕下、金照町、城南町となっておりますが、趣味に合わせて他の地域から来ている方もあります。現在会員は六十一名で、平均年齢は七十九・七才と高齢化が進んでおります。

転んでも起こしてくれる人がグンと少なくなりました。町全体がこんなことになったとしたら気味の悪いことでしょう。これを補う第一は六十代の若い方々の入会を望まなければなりません。また私共もより一層元氣を出し心身を若く保ち家庭内では勿論、地域社会に対してお年寄りなりのお手伝いをさせて頂くことだろうと思います。

今年から「老人週間」が設定され、九月二十日が社会奉仕日となり、今回は百石橋と牛島橋の歩道の除草と掃除をさせて頂きました。

私共のクラブ活動は、曜日別に種目を割当て実施していることが他と異なり、特に昨年からは築山小学校のグラウンドを月二回（第二、四土曜日の午前）を開放していただき、地域全体の高齢者ふれあいの場として活用させて頂いていることに大変感謝しております。このようにクラブ活動が潤沢にできることは、人的、物的に恵まれているからで有難く感じています。

ところがスポーツのようなことには不得手であったり、家にこもりがちなる



南部老連グランドゴルフ大会で優勝・準優勝を独占



市老連スポーツ大会